



## 【武蔵学園百周年記念事業】 武蔵高等学校中学校「理科・特別教室棟」の建設開始 ～Liberal Arts & Sciences 教育の更なる充実をめざして～

学校法人根津育英会武蔵学園(理事長 根津公一)は、学園百周年記念事業の一環として、武蔵高等学校中学校(東京都練馬区/校長 梶取弘昌)の「理科・特別教室棟」建設工事に着手します。

本学園では、経営戦略として理事長ドクトリン「まなざしを世界に向け、21世紀の課題を担う国際人を育てる学校を目標とする」を掲げ、それを教育研究面で具体化する学園長プランにおいて「世界に開かれたリベラルアーツの学園となることをめざす」としています。今回の武蔵高等学校中学校「理科・特別教室棟」の建設は、これらを受けて旧制七年制の武蔵高等学校以来続けてきた、中等教育における Liberal Arts & Sciences を重視する教育を一層強化するために、理科教育における実験施設や、英語、数学その他の少数教育のための分割教室(演習室)等の充実を図るものです。

「理科・特別教室棟」は濯川(すすぎがわ)のほとり、ほぼ学園の中央に位置しています。今後、日本の教育が大きく変わろうとしている中で、武蔵の学びもそれに先駆けて変わります。施設を含め、武蔵の学びが新たな教育のあり方を示していきます。



▲完成イメージ図

### 【ポイント】

#### Q1.どのような位置づけの事業なのか？

A1. 学校法人根津育英会武蔵学園(武蔵大学/武蔵高等学校/武蔵中学校)は、2022(平成34)年に学園創立百周年を迎えるにあたり、2007(平成19)年より様々な記念事業を行っています。前半の8年(2007-2014年度)では、1969(昭和44)年竣工の「高等学校中学校教室」の改修(2009年工事完了)や、1928(昭和3)年竣工の「大講堂」を改修(2011年工事完了)しました。後半の8年(2015-2022年度)では、今回の「理科・特別教室棟」を建設いたします。

◇参考 URL:

武蔵学園 Web サイト>百周年記念事業計画の前期報告について  
<http://www.musashigakuen.jp/ayumi/100shuunen/schedule.html>

#### Q2.建設事業のコンセプトは？

A2. Liberal Arts & Sciences 教育のもと、生徒と教師が対話できる新たな『学びの杜』を創造することをめざしています。すすぎ川に象徴される旧制武蔵から脈々とつながる『学び』、その『水脈』が創り出した『杜』の中で教師と生徒がつながり、『対話』が生まれます。新しくつくられる「理科・特別教室棟」だけでなく、既存棟にも手を加え、『対話の杜』の中で新たな『学び』が生まれます。

#### Q3.建設事業の具体的な内容は？

A3. 新たな『学びの杜』を創造するために、現軟式テニスコート上に「理科・特別教室棟」を建設し、現在の理科棟、管理棟を取り壊し、外構を整備します。現在の中庭付近にエントランス部を建築し、そこには教師控室、校長室、副校長室、教頭室、事務室が入ります。既存棟部分も今後の教育環境の変化に対応すべく改修します。

#### Q4.どのような機能が備わった施設なのか？

A4. 既存の理科棟の約1.5倍の延床面積があり、ゆったりとした空間・環境となります。

- 1・2階:芸術教室、芸術研究室、視聴覚教室、大会議室・保健室、相談室、演習室、家庭科調理室、英語・数学・第二外国語の各研究室
- 3・4階:理科関係の実験室・研究室、部室
- 屋上:天体観測ドーム

### 【概要】

名称:武蔵高等学校中学校「理科・特別教室棟」  
所在地:東京都練馬区豊玉上1-26-1  
工期:2016(平成28)年7月～2018(平成30)年12月  
(既存施設の改修を含む)  
総事業費:約26億円  
建築面積:1,410平米(426坪)  
延床面積:5,686平米(1,720坪)  
構造・規模:鉄筋コンクリート造 地上4階(一部5階)  
外壁:コンクリート吹付塗装仕上  
施工:清水建設(株)  
設計・監理:  
●基本設計=三菱地所設計(株)  
●実施設計・監理=(株)武蔵エンタープライズ

### 【工事スケジュール】(予定)

2016年9月頃 工事開始  
2018年3月頃 工事終了  
2019年4月頃 既存施設の改修も行い、  
すべての新施設使用開始

■根津育英会武蔵学園(武蔵大学/武蔵高等学校/武蔵中学校) [アクセス:西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分]

【建学の三理想】1.東西文化融合のわが民族理想を遂行し得べき人物 2.世界に雄飛するにたえる人物 3.自ら調べ自ら考える力ある人物

東武鉄道や東京地下鉄道(現東京メトロ)など多くの鉄道事業に携わり、財界で活躍した根津嘉一郎(初代、1860～1940)が、1922(大正11)年にわが国初の七年制高等学校である旧制武蔵高等学校を創設。旧制武蔵高等学校は「人間形成を根幹に、明日の新しい日本を担う、優れた人材を育てる」という理想を掲げ、その後の学制改革にともない1948(昭和23)年に新制武蔵高等学校、1949(昭和24)年に武蔵中学校、武蔵大学となりました。創立から90年以上を経た現在、激しく揺れ動く社会環境の中にあつて、創設時に掲げた「建学の三理想」は、今なお色褪せない価値をもち続けています。

—本件に関するお問い合わせ先—

学校法人根津育英会武蔵学園 武蔵学園広報室 担当:下川 しもかわ  
〒176-8534 東京都練馬区豊玉上1-26-1  
TEL: 03-5984-4003/FAX: 03-5984-3727  
E-mail: [pubg-r@sec.musashi.ac.jp](mailto:pubg-r@sec.musashi.ac.jp)